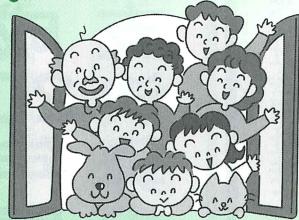


ひとりのため
みんなのため



2009年8月号
No.55



社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会 〒795-0064 大洲市東大洲270-1
TEL 0893-23-0313/FAX 0893-23-0295

ふれあい・いきいきサロン紹介

長浜地区 沖浦さくらサロン



久しぶりにまたまたった雨が降った6月10日(水)、沖浦公民館において「沖浦さくらサロン」が開催されました。

今年で活動3年目のこのサロンは、人数が参加者・お世話人さん合わせて24名で、毎月1回開催されています。

この日は地元の主婦の方がメンバーに入っている「読み聞かせグループ オリーブ」さんを招いてのレクリエーションが行われました。その内容は盛り沢山で、大型絵本を読むことから始まり言葉遊びや紙芝居、新聞を千切りながら展開するお話やクイズなどが次々と披露されるというものでした。皆さん方、クイズには元気よく答え、紙芝居には身を乗り出して見入り次の場面を隣の席の人と予測し合ったり、言葉遊びの洒落に大笑いしたりと、慣れ親しんだ仲間との愉快な時間を大いに楽しんでおられました。

「メンバーは全員独居、そして後期高齢者。でも毎回ほぼ全員が出席しているんですよ。今後も今までどおりあまり難しいことはせず、お金もかけず、楽しく続けていけたらいいなと思っています。」とお世話人さんは話してくださいました。

会の終わりはいつも歌で締めくくるとのこと。この日

も皆さん「ほけない小唄」などを合唱され、次の会でもお互いに元気で会うことを約束されていました。



河辺地区 御幸の会



6月18日(木)、地域活性化センターにおいて「御幸の会」が開催されました。このサロンは一昨年の4月、「地元にサロンを」という要望に応え民生児童委員さんや保健師さんが中心となり立ち上りました。参加地区も最初は北平地区としていましたが、活動を続けている内に楽しさが周辺に伝わり徐々に範囲が広がっていったということです。

この日は抜けるような快晴で、窓の外からはサロン名の由来ともなっている御幸橋が架かる川の流れの涼やかな音が聞こえてくる中、参加者は、焼肉のたれ作りと新聞紙を使っての遊び、それぞれ好きな方を選んで楽しまれました。焼肉のたれの班は、味噌・バナナ・海苔など13種類もの材料を組み合わせて自家製のたれを作り、市販のものではなかなか出せない深い味に仕上げることができ大満足。一方、新聞紙遊びの班は、自分の名前を大きく一文字ずつ新聞紙から手で切り抜く遊びをしました。これがやってみると意外に難しかったのですが、合間合間にお孫さんのことや自分の名前が付けられた時のエピソードを話したりと、作業に集中しながらもわいわいと賑やかな時間を過ごされました。

合併後、この様な楽しみのために集まる会が無くなってしまったのでサロンはとても喜ばれています。今後も楽しんでもらえる限り、続けていけたらいいなと思っています、とのことででした。



本会は、社会福祉法に位置づけられた本来果たすべき使命と公共性を十分自覚し、行政との役割分担を明確化していくことで社会福祉法人としての社会的責務を果たしていかなければなりません。そこで本会では、住民主体の理念に基づき、地域福祉の課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指すとしている社会福祉協議会の基本要項を推進してきました。

国、県、市の厳しい財政状況の中、コミュニケーション機能や小地域での細やかなサービスの低下が危惧されている折、本会は、行政、団体、住民等の間で潤滑油としての役割が一層求められることを強く自覚し、組織体制の再編に努め、市民福祉の向上に取り組んできました。平成20年度の事業運営に当たっては、市社協としての一体感の醸

平成20年度の主な事業内容と収支決算の概要を報告します

本会は、社会福祉法に位置づけられた本来果たすべき使命と公共性を十分自覚し、行政との役割分担を明確化していくことで社会福祉法人としての社会的責務を果たしていかなければなりません。

そこで本会では、住民主体の理念に基づき、地域福祉の課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指すとしている社会福祉協議会の基本要項を推進してきました。

成と、全体の発展に重点を置き、福祉関係団体等との連携を一層密にしながら、「互助」「共助」を基調とする福祉コミュニティの醸成に努め時代背景に即した望ましい「福祉のまちづくり」の構築を目指して諸事業の推進に努めてきました。

☆相談活動

■心配ごと相談所の運営

各相談室において一般相談、法律相談、介護相談のほか、電話による相談対応をはじめ、総合福祉センター等の機能を生かした福祉ニーズの的確な把握に努めました。

◇大洲本所（毎週）

一般相談（月・水曜日）

法律相談（火・木曜日）

介護相談（金曜日）

・月平均利用人数 274名

図りました。

• 月平均利用人数 55人

• 月平均利用人数 1,359人

• 月平均利用人数 55人

• 月平均利用人数 1,359人

☆介護保険事業

■居宅介護支援事業の実施

利用者の自己決定権の尊重、自立を目指した介護計画及び介護予防計画（ケアプラン）の作成に努め、サービス事業者の意思統一を図りました。

利用者ができる限り健康で活動的な生活を送るための個別援助計画を作成し、特に介護予防、機能訓練（日常生活訓練）に力を注ぎ、要支援・要介護度の維持・改善に努めました。

相談者数 291名
相談件数 248件

◇河辺支所（月1回）
10日
5日

◇長浜支所（月1回）
第4金曜日

■訪問介護事業の実施

介護予防訪問介護事業の開始に伴い、サービスの質の高い事業所を積極的に評価する視点から、介護福祉士資格取得やヘルパーの活動環境の整備とサービスマニュアルの作成及び個別援助計画に沿ったサービスの提供に努めました。

■在宅介護支援センターの運営

担当地区民生委員、在宅福祉推進員等と連携を図りながら、介護に関する総合相談や各機関とのサービス調整等、在宅での介護の支援に努めました。また、地域に密着した支援センターを目指し、サロン活動や地区行事に積極的に参加し、介護教室等を実施しました。

■訪問入浴介護事業の実施

利用者に満足して頂けるサービス実施のため、サービスマニュアルの作成、さらに、今までサービス利用の少なかつた肱川町・河辺町にもサービスエリアを拡げました。

■通所介護事業の実施

利用者ができる限り健康で活動的な生活を送るための個別援助計画を作成し、特に介護予防、機能訓練（日常生活訓練）に力を注ぎ、要支援・要介護度の維持・改善に努めました。

☆障害者自立支援事業

■障害者ホームヘルプ活動の推進

障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準に沿った事業を行いました。

- ・月平均利用人数 22名

■移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者に、社会生活上必要不可欠な外出時の移動を支援しました。

- ・月平均利用人員 8人

■地域活動支援センター運営事業

障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準に沿った事業を行いました。

- ・月平均利用人数 113名

☆地域支援事業

■生活管理指導員派遣事業の実施

要支援・要介護認定を受けていない高齢者を対象に、住み慣れた

地域で自立した生活ができるよう

に、日常生活の指導・支援を行い、健全で安らかな生活の確保・援助に努めました。

- ・月平均利用人数 25名

■高齢者デイサービス運営事業

日頃家に閉じこもりがちな高齢者に対して、デイサービスセンター

若宮・東大洲・長浜において各種のサービスを提供し、自立的生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上に努めました。

- ・月平均利用人数 72名

■外出支援サービス事業

ホームヘルパーが利用者宅と医療施設との間を送迎し、高齢者・障がい者等の在宅生活を支援しました。

- ・利用者数 104人

■軽度生活援助事業

日常生活の中で、介護保険のサービスや生活管理指導員派遣事業で対応できない支援を行いました。

- ・利用者数 8人

■福祉機器の貸出等

介護に係る経費の負担軽減を図り、自立援助のため福祉機器の貸出を行うとともに、独居高齢者等を対象として、緊急の場合の連絡体制を強化しました。

- ・ギャッチベット・車椅子等

■独居高齢者緊急通報装置

概ね65歳以上の独居高齢者及び高齢者のみの世帯を対象とした緊急通報装置の管理、緊急時の初期対応にあたりました。また、月1回利用者の方に安否確認を行い、日常の状況把握に努めました。

- ・安否確認 3,552件
- ・緊急時の初期対応 69件



◆無線ペンダント PT-501

■各種資金の活用促進

低所得者、障がい者世帯に対し有利で利用目的にあつた資金を貸し付けるとともに、必要な援助指導を行い、その世帯の経済自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるように努めました。

☆住民の主体的な福祉活動

■大洲市地域福祉サービス事業の推進

地域の福祉問題を、地域住民同士がお互いに支え合いながら解決を目指す一つの手段としての地域福祉サービス事業を推進しました。

- ・会員数 648名

■小地域在宅福祉活動事業の実施

地区協が実施主体となつて地域ふれあい事業・独居高齢者のつどい・独居高齢者料理教室・在宅暮らし高齢者等の支援活動を行いました。

■ ふれあい・いきいきサロン事業

閉じこもりがちな高齢者等が身近な集会所において、おしゃべりや体操、ゲーム等を行い、人とのふれあいを通じて、孤独感の解消や社会参加による生きがいづくり等を目的に、地域の住民とともにつくる「ふれあい・いきいきサロン」の支援を行いました。



サロンの様子

- ・実施主体 八幡浜市社協
(県社協より委託)
- ・ふれあい・いきいきサロン事業の活動支援
- ・生活支援員 (実際の支援、契約内容の履行補助)

☆ボランティア活動推進事業

■ボランティアコーディネーターの活動促進

- ・各ボランティア講座の企画・実施、ボランティア活動の啓発
- ・ボランティア活動の支援・調整
- ・大洲市ボランティア相談窓口開設

- ◆日常生活自立支援事業
判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者に対し、介護保険等の利用援助や日常的な金銭管理等、福祉サービスの利用を適切に行うために事業の円滑な実施への協力とPRを行いました。
- ◆ボランティア育成支援
◆点字・朗読広報発行事業
【協力】点訳サークル「ひとみ」
朗読サークル「ここる」
大洲市広報・社協会報誌等の点訳及び朗読テープ作成
◆企業ボランティア活動の協力活動支援
◆その他各種ボランティアイベント等の協力
- ◆ボランティア保険の加入促進
・実施主体 八幡浜市社協
(県社協より委託)
・平成21年3月末加入

個人保険 1,150名

まごころ銀行は、地域住民の善意の預託を受けて、それを効率的に社会に還元して地域福祉事業に役立たせることを目的とした制度であり、その啓発推進に努めました。

☆福祉教育・啓発事業

■調査、広報活動の実施

会報「社協だより」発行

■ワークキャンプの実施

市内の福祉施設や保健施設の協力を得て、中高生を対象に2泊3日または3日間のボランティア体験学習を実施し、福祉活動に対する理解の深化に努めました。

- ・協力施設 13施設
- ・参加校 中学校 5校
高校 4校

■共同募金活動の推進

◇実施期間
10月1日～12月31日

◇内訳
実績額 15,164,474円

・金銭預託	40件 1,764,343円
◇一般預託	172件 6,547,924円
・物品預託	3件



☆強化・育成事業

■まごころ銀行運動の推進



平成20年度大洲市社会福祉協議会 決算の概要

5月28日に理事会・評議員会を開催し、決算及び事業内容について承認を得ました。

資金収支計算書（全体大区分）

(単位：円)

科 目	入 決 算 額	科 目	出 決 算 額
会費収入	4,534,550	人件費支出	297,700,402
寄付金収入	8,312,267	事務費支出	26,206,402
経常経費補助金収入	67,387,219	事業費支出	34,376,744
助成金収入	569,200	貸付事業等支出	492,600
受託金収入	22,645,100	共同募金配分金事業費	10,516,233
事業収入	1,155,455	助成金支出	16,366,756
共同募金配分金収入	13,630,320	負担金支出	120,000
介護保険収入	261,233,062	経理区分間繰入金支出	63,997,021
自立支援費等収入	6,874,546	固定資産取得支出	7,736,105
運営費収入	571,700	積立預金積立支出	11,597,261
雑収入	2,065,183	その他の支出	2,072,113
受取利息配当金収入	943,981	当期末支払資金残高	104,150,163
経理区分間繰入金収入	63,997,021		
積立預金取崩収入	21,148,498		
その他の収入	1,309,287		
前期末支払資金残高	98,954,411		
合 計	575,331,800	合 計	575,331,800

※この計算書は、平成13年度に厚生労働省の指導により導入された、社会福祉法人新会計基準【社協用】に基づいて作成しております。
当社協では、上記全体会計を9の経理区分に分け、さらに45の管理区分に細分化し収支の状況を明確に区別し運営しております。

経理区分別資金収支の内訳

(単位：円)

経理区分 項 目	法 人 運 営	委 託・助 成 事 業	共 同 募 金 配 分 事 業	居 宅 介 護 事 業	訪 問 介 護 事 業	通 所 介 護 事 業	訪 問 入 浴 介 護 事 業	福 祉 ボ ラン テ イ ア 基 金 運 営 事 業	ま ご こ ろ 銀 行 運 営 事 業	総 合 計
経 常 活 動 収 入 計	88,325,397	16,168,447	13,630,320	40,389,765	116,065,849	133,383,158	20,558,750	12,150,506	13,247,412	453,919,604
施設設備等収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動等収入計	21,050,192	181,000	0	0	699,114	527,479	0	0	0	22,457,785
前期末支払資金残高	685,424	0	0	18,562,990	14,840,215	50,766,651	3,001,786	2,113,375	8,983,970	98,954,411
合 計	110,061,013	16,349,447	13,630,320	58,952,755	131,605,178	184,677,288	23,560,536	14,263,881	22,231,382	575,331,800
経 常 活 動 支 出 計	102,077,106	15,749,247	13,630,320	47,143,501	114,334,568	133,116,830	14,711,000	2,465,662	6,547,924	449,776,158
施設支出等支出計	6,600,085	0	0	0	1,136,020	0	0	0	0	7,736,105
財務活動等支出計	1,383,822	600,200	0	300,708	492,600	668,491	63,732	10,159,821	0	13,669,374
当期末支払資金残高	0	0	0	11,508,546	15,641,990	50,891,967	8,785,804	1,638,398	15,683,458	104,150,163
合 計	110,061,013	16,349,447	13,630,320	58,952,755	131,605,178	184,677,288	23,560,536	14,263,881	22,231,382	575,331,800

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

高尾 保 肱川町
國井 洋 河辺町
貧者の一灯 大洲市
物品の部

領内年夫八多喜田
『三善地区社協』
灌本惣一多田
《肱川地区社協》
肱川町

中野 照子 新谷
上岡 正幸 新谷
『八多喜地区社協』

《柳沢地区社協》

久米地区社協会

金の言

五月三十一日まで
(敬称略)

おしゃれのおしゃれ

ホームヘルパー2級養成講座 受講生募集のお知らせ

期 間：平成21年10月3日～平成21年12月12日

- ・10月3日～11月8日
- 毎週：火・木曜日 18:00～21:10
　　土・日曜日 9:00～17:30
- ・11月9日～12月6日の期間中に4日間の
　現場実習あり

募集人員：40名

申込受付：平成21年8月18日（火）から

申込締切：平成21年10月2日（金）

※ただし、定員になりしだい締め切ります

受講料：40,000円（テキスト代6,800円は別途）
研修場所：株式会社新風会（ブレスロービル）2F 研修室
株式会社新風会 デイサービスセンター龍星
株式会社新風会 グループホーム龍星
株式会社新風会 グループホーム白雲
内子町社会福祉協議会 訪問介護事業所
内子町社会福祉協議会 訪問介護事業所 小田支所

<主催・申込・問合せ先>

株式会社 新風会

ホームヘルパー2級養成講座係 担当／永井

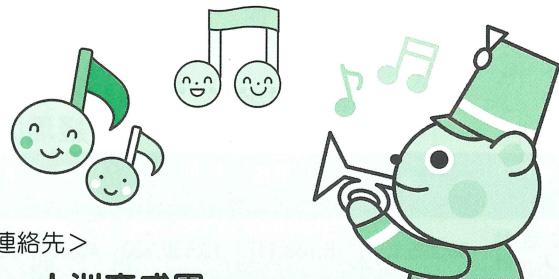
〒795-0061 大洲市徳森宇野田1477-1

TEL0893-25-6132

大洲育成園「桃太郎工房祭り」と ボランティアさん募集!のお知らせ

今年も大洲育成園では、8月8日（土）に桃太郎工房祭りを開催致します。各種バザー・踊り・アトラクション等、色々な催し物を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

また、当日、ご協力頂けるボランティアの皆さんを募集致します。参加して頂きます方は、8月5日（水）までにご連絡ください。ともに楽しいひと時を過ごしてみませんか？



＜連絡先＞

大洲育成園

TEL (0893) 25-5251 担当／石間まで

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会(本所)	毎週月・水(一般相談) 火・木(法律相談) 金(介護相談) 大洲市総合福祉センター 10時~16時
長浜支所	8月28日(金) 大洲市長浜体育館 13時~16時
肱川支所	8月4日(火) 大洲市肱川公民館 13時30分~16時30分
河辺支所	8月10日(月) 大洲市河辺老人福祉センター 9時~12時